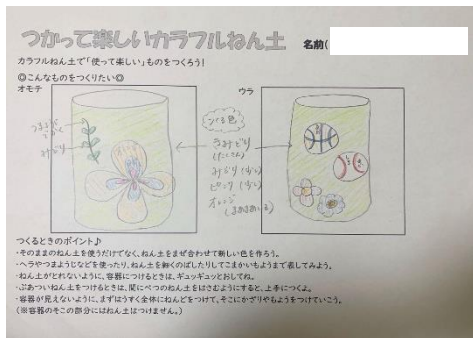


“つかってたのしいカラフルねん土” 古町小3年 図工

☆じゅんぴ☆

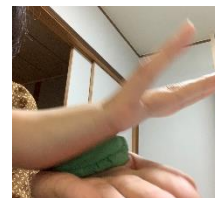
- ・下がきのプリント(何色のねん土がいるか、どんなデザインにするか考えましたか?)
- ・28日に持ち帰った材料(ねん土・空きようき・スパンコール)
- ・図工の教科書
- ・新聞紙
- ・へら または つまようじ
- ・ねん土ばん または ラップ
- ・ぬらしたハンカチ(お手ふき用)



※ようきのそこに名前を書いてください。

☆すすめ方☆

- ① まずは手をしっかりあらおう。
- ② 下がきのプリントを見て、ベースとなるねん土の色をつくります。
手のはらの部分で力をこめてまぜていくときれいにまざります。
(マールもようのままつかってもOKです!)



※ねん土はつかう分だけふくろから出し、つかわないねん土はふくろにしまっておこう。
ときどきぬらしたタオルで手をふきましょう。手にねん土が付きにくくなります。

- ③ できたねん土をうすく全体につけていきます。
親指をつかっていねいにのばします。

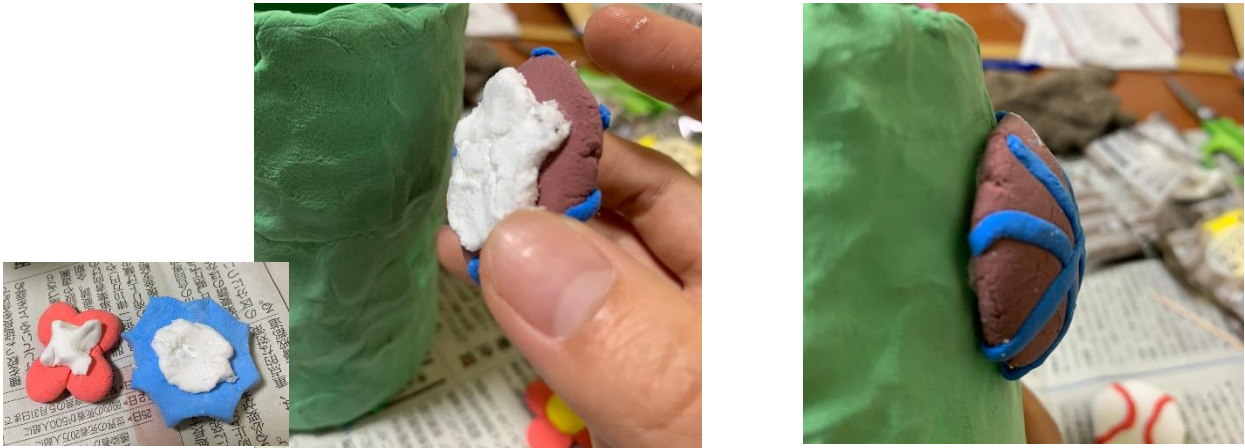


- ④ ひつようなねん土の色をつくりながら、かざりをつくります。
下の図もさんこうにして、あたらしい色をつくってみてください。



⑤ かざりをようきにつけていきます。

このとき、つくったかざりのウラがわに、ふくろから出したべつのねん土をつけてから、
ようきにつけます。(ねん土がせつやくざいの役わりをしてくれます。)
とれないように、ギュッギュッと、おしてください。



※スパンコールをつけるときも、とれないようにねん土にしっかりおしこみましょう。

⑥ ~完成~

かんせいした作品は学校に持っていくまで、こわれないうほかんしててください。
ねん土がかわくまで、さわらずに置いておきましょう。
お家の人をお願いして写真もとってもらおうといいですね。



⑦ 作品カードを書きます。

がんばったところ、くふうしたところを先生に教えてください。

⑧ 後かたづけをします。

あまったねん土は、自由につかってください！ ただ、かわくのがはやいのではやめにつかってくださいね。
手をしっかりあらいましょう。

そうぞうをふくらませて、世界に1つだけのペン立てをつくってくださいね😊
(もうペン立てづくりにとり組んでくれた人もいます。
先生のせつ明が間に合わなくてごめんなさい。)
みなさんがつくった作品を見るのが楽しみです。